

第10回

自然観察イストラクター養成講座

自然を伝えよう!

身近な人から未来の子ども達へ



2000年4月12日~12月3日

【主催】

社団法人 大阪自然環境保全協会

〒530-0015

大阪市北区中崎西 2-6-3 パスル 1-201

Fax 06-6374-0608 Tel 06-6374-3376

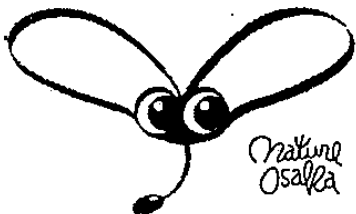
【後援】

大阪府

大阪府教育委員会

(社会福祉法人)

朝日新聞大阪厚生文化事業団



身近な自然を大切に!

『自然観察インストラクター』ってどんな人？

あなたは『自然観察インストラクター』と聞いてどんな人をイメージしますか？植物の名前をたくさん知っている人？いろいろな鳥の習性について説明できる人？たしかに自然についての様々な知識は持っているほうがいいでしょう。でもそれだけが大事なことでしょか。

私たちの考える『自然観察インストラクター』とは「自然の感動を伝える人」です。ただ何気なく歩いている普段の道も、よく観ると生き物の不思議な営みでいっぱい。それを見つけてすごいなと感動できる、それがインストラクターの第一歩です。そして、その感動を自分一人の中にとどめておくのではなく、他の人と共に分かち合う、そのことでその感動は大きな輪となり広がっていくことでしょう。その輪が、「身近な自然の大切さ」を実感させ、それを守ろうという力になることを私たちは信じています。『自然観察インストラクター』とは、そんな広がりを生み出すためのリーダーとして活躍していく人です。

《修了生の声》

私にとってこの講座はこれまで漠然と感じていた環境問題や、自然と人間との関わりをより深く考え、行動を起こす突破口のようなものでした。もとより自然関係に疎い私は、今でも名前の知らない生き物がたくさんあります。でも、そんなに詳しい知識はいりません。それよりも感動する心を持ち、一緒に感動してくれる仲間を見つけ、増やしていく活動なんじゃないでしょうか。

6期 40代 男性

「自然についていろいろ教えてくれるのだろう」という気持ちで受講した私は、すぐに自分の思い違いに気がついた。受講して一番大変だったのは、様々な自然観を持つ人とどうやって共通の自然を分かち合うか、という問題だった。なにしろ講座の最後には自分たちで公開観察会を行うのだから。自分たちが伝えたい自然とは何か、それをどうやって伝えるか。この講座は「受講する」のではなく、「参加する」講座だ。

6期 20代 女性

私は今まで京都の北山杉や公園のポプラ並木を見て、緑っていいな、自然は大切だな、と思っていました。しかし講座を受けて「私たちはその中で雑木林が一番大事だと思う」と言う気持ちがすごく強くなりました。そして、その理由をきちんと伝えていけるインストラクターになりたいと思っています。

1期 50代 女性

《講師陣》

| | |
|--------|-----------------------------|
| 岡 秀郎 | (社) 大阪自然環境保全協会事務局長 |
| 菅井 啓之 | 大阪教育大学付属池田小学校教諭 |
| 亀井 幸子 | 森林インストラクター |
| 木下 陸男 | (社) 大阪自然環境保全協会副会長・広島大学非常勤講師 |
| 大野 尊信 | (社) 大阪自然環境保全協会理事 |
| 長尾 文雄 | 聖マーガレット生涯教育研究所主任研究員 |
| 佐藤 治雄 | 大阪府立大学農学部植物生態学 |
| 高畠 耕一郎 | (社) 大阪自然環境保全協会理事・吹田自然観察会 |
| 石井 実 | 大阪府立大学農学部教授 |
| 布谷 知夫 | 滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員 |
| そよごの会 | 自然観察インストラクター養成講座修了生の会 |

《講座内容と日程》

* 講座は3部構成で、基礎編は講義と実習、応用編は参加型プログラムが中心です。

実践編では受講生自身によって公開観察会を企画・開催します。

* 平日の室内講座は、水曜日のPM6:30~8:30です。(4月20日のみ木曜日)

会場は、北市民教養ルーム(阪急梅田駅徒歩5分)を予定しています。

(宿泊・野外講座の会場・時間などの詳細については受講決定後お知らせします。)

基礎編

| 回 | 月・日・曜 | テーマ | 講師 | 会場 |
|----|---------------------|---------------------------|-----------------|---------|
| 1 | 4月12日(水) | オリエンテーション | 岡 秀郎 | 室内 |
| 2 | 4月16日(日) | 自然観察入門 | 菅井啓之 | 烏帽子形公園 |
| 3 | 4月20日(木) | 自然の見方 | 菅井啓之 | 室内 |
| 4 | 4月22日(土) ~23日(日) | 宿泊研修①、野外で楽しもう | 亀井幸子 講座スタッフ | 服部緑地公園 |
| 5 | 5月10日(水) | 大阪の人と自然 | 木下陸男 | 室内 |
| 6 | 5月14日(日) | 里山の成り立ちと生きもの | 大野尊信 | 青貝山(能勢) |
| 7 | 5月28日(日) | 初夏の自然を楽しもう 体験学習入門 | 9期生 長尾文雄 | 大泉緑地 |
| 8 | 5月31日(水) | 生態学入門① | 佐藤治雄 | 室内 |
| 9 | 6月4日(日) | 生態学入門② | 佐藤治雄 | 奈良公園 |
| 10 | 6月18日(日) | フィールドマップを作ろう! 観察会の企画運営 | 講座スタッフ 高島耕一郎 | 新檜尾台公園 |

応用編

| 回 | 月・日・曜 | テーマ | 講師 | 会場 |
|----|-------------------|----------------------|--------------|----------------|
| 11 | 6月末 | 現場へ出よう | 府下各地域グループへ派遣 | |
| 12 | ~ | (下見・打ち合わせ・本番観察会実施体験) | | |
| 13 | 8月初め | | | |
| 14 | 7月26日(水) | 環境を考える | 講座スタッフ | 室内 |
| 15 | 8月2日(水) | 人と自然とのかかわり~里山と昆虫~ | 石井実 | 室内 |
| 16 | 8月23日(水) | 地域グループ参加のふりかえり | 講座スタッフ | 室内 |
| 17 | 8月27日(日) | 自然保護と観察会、観察とテーマ | 布谷知夫 | 千里中央公園 |
| 18 | 9月2日(土) ~3日(日) | 宿泊研修②、ミニ観察会をやってみよう | 講座スタッフ | ちはや園地 (金剛山) |

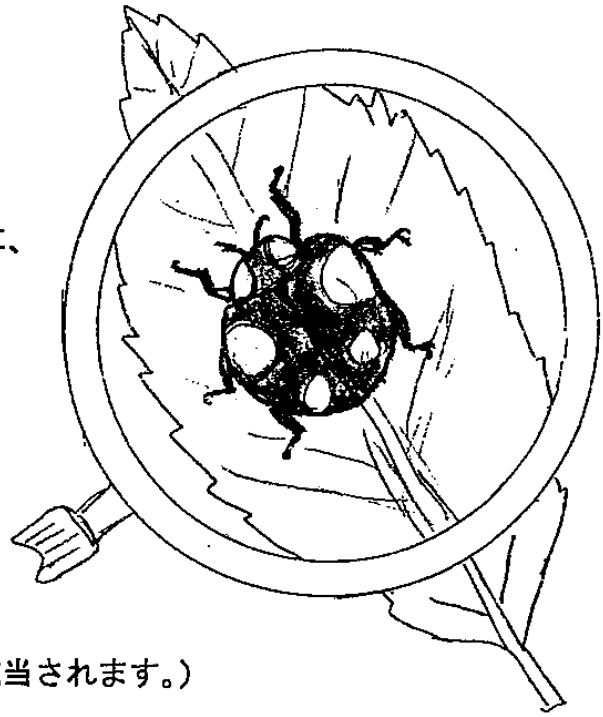
実践編

| 回 | 月・日・曜 | テーマ | 会場 |
|----|-----------|--------------|-------------|
| 19 | 9月13日(水) | 始めよう自分たちの観察会 | 室内 |
| 20 | 9月17日(日) | 現地下見① | 2ヶ所に別れて |
| 21 | 9月27日(水) | 班別会議① | 室内 |
| 22 | 10月1日(日) | 現地下見② | 2ヶ所に別れて |
| 23 | 10月18日(水) | 班別会議② | 室内 |
| 24 | 10月29日(日) | シミュレーション(A班) | 千里中央公園(豊中市) |
| | 11月5日(日) | シミュレーション(B班) | 新檜尾台公園(堺市) |
| 25 | 11月8日(水) | 班別会議③ | 室内 |
| 26 | 11月19日(日) | 公開観察会(A班) | 千里中央公園(豊中市) |
| 27 | 11月26日(日) | 公開観察会(B班) | 新檜尾台公園(堺市) |
| 28 | 12月3日(日) | 修了式 | 室内 |

※日程・講師・会場などの都合により変更される場合があります。

《この講座を修了すると...》

この講座を修了された方は、(社)大阪自然環境保全協会に自然観察インストラクターとして登録されます。また、当協会が主催・後援する自然観察会や調査活動に、リーダー・スタッフとして参加できます。さらに、修了者が自主的に行う観察会など活動の場があります。



《参加費用》

| | |
|--------|---------|
| 保全協会会員 | 29,000円 |
| 非会員 | 33,000円 |

教材費、保険料、宿泊研修費を含みます。

ただし宿泊研修時に若干の食費が別途必要です。

(差額4,000円は当協会の協力会員会費に充当されます。)

《定員》

25人(定員を超えた場合、申込〆切後に抽選となります。)

《参加資格》

18歳以上で次の条件を満たされる方

- ① 身近な自然を守るために何かやりたいと考えていること。
- ② 原則としてすべてのプログラムに参加できること。

《申込方法》

ハガキに 氏名、性別、生年月日、住所、電話番号を記入し、
3月13日(必着)迄に下記へお送り下さい。

《申し込み・問合せ先》

〒530-0015 大阪市北区中崎西2-6-3 パステル1-201
(社)大阪自然環境保全協会 インストラクター養成講座係
TEL 06-6374-3376 FAX 06-6374-0608

社団法人 大阪自然環境保全協会

大阪南港に野鳥公園をつくる運動を推進した市民が中心となって、身近な自然を守り育てることを目的として、1976年に設立された公益法人NPO(非営利団体)です。会員は約1700名で、会長を含む20名の理事が中心になり、正会員で構成する総会を最高決議機関として運営されています。大阪を中心に近畿全体で自然保護活動および啓発活動を行っています。運営資金は会費と寄付、及び自然保護事業の収入によってまかなわれています。